

ライカレーザーマイクロダイセクション 取扱説明会のご案内



ライカレーザーマイクロダイセクション LMD7

【日程】: 2019年4月25日(木)

① 10:00~12:00

② 13:00~15:00

①と②は同じ内容です(定員各10名程度)。

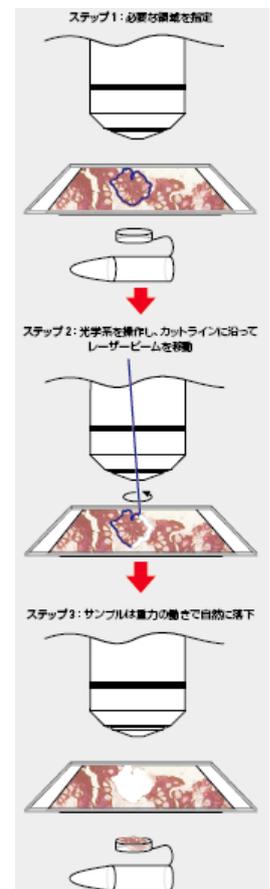
【場所】: 長崎大学 遺伝子実験施設 3階 画像解析室 機器前

レーザーマイクロダイセクション(LMD)とは、顕微鏡下で個々の細胞や組織を観察し、レーザーを用いて周囲から切り離すことで必要な部位のみを回収する装置です。コンタミの無いサンプルからDNA、RNA、タンパク質を抽出し、より正確に詳細な結果を得ることができます。

LMD専用光学系を標準的に搭載しているライカ製レーザーマイクロダイセクションは、レーザーが飛躍的に進化し、凍結切片やパラフィン切片はもちろん、骨などの硬組織、培養細胞(Live Cell)、蛍光標本といった様々な標本から、単一細胞や細胞グループを迅速かつ高精度にコンタミネーションがなく単離、回収することが可能となり、実験の幅が広がりました。

今回のデモでは、ライカレーザーマイクロダイセクションの歴史および原理から、実験への応用例をご紹介します。

《サンプル回収ステップ》



【ご照会内容】

- ・レーザーマイクロダイセクションの原理
- ・LMD 専用対物レンズの効果
- ・各種アプリケーション例のご紹介



【お申込み先・お問い合わせ】

遺伝子実験施設 受付 内線7190
Mail: grc@ml.nagasaki-u.ac.jp